



図 25.14 カンジダ性指趾間びらん症 (erosio interdigitalis blastomycetica)
第3指間が好発部位である。

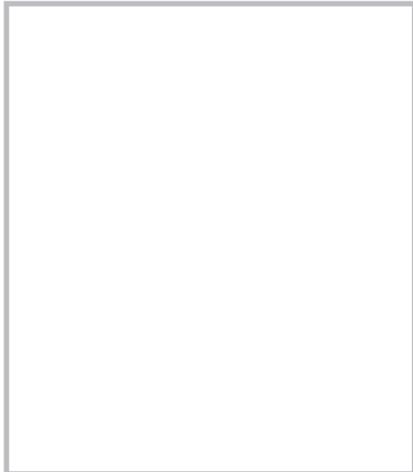
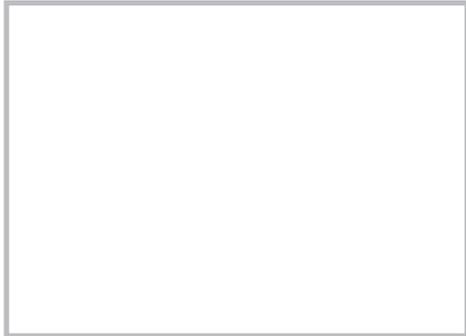


図 25.15 カンジダ性爪囲炎 (candidal paronychia)

ouraud ブドウ糖寒天培地に 25℃ で培養すると、2～3 日で白色からクリーム色の集落を形成する。カンジダ血症や内臓病変では、カンジテック® 陽性、血中 β -D-グルカン上昇をみる。

治療

入浴、清拭、亜鉛華軟膏などで病変部の清潔、乾燥を保つだけで軽快することが多い。抗真菌薬の外用が主に行われる。口腔カンジダ症ではアムホテリシン B シロップによる含嗽や、ミコナゾールゲルなどを用いる。女性の性器カンジダ症ではミコナゾール陰錠を用いる。重症例では抗真菌薬の経口投与や点滴静注が必要になることもある。

1. カンジダ性^{かんきつ}間擦疹 candidal intertrigo ★

発汗による多湿や不潔が誘因となって、皮膚と皮膚が擦れ合う部位（間擦部：陰股部、殿部、頸項部、腋窩、乳房下部など）に、境界鮮明な紅斑を形成する。辺縁に鱗屑や小膿疱を伴う。これらが進展すると、びらん面を呈し、二次性に細菌感染などを生じやすくなる。軽い瘙痒あるいは疼痛を訴えることがある。体部白癬、脂漏性皮膚炎、刺激性接触皮膚炎、Hailey-Hailey 病、乳房外 Paget 病などの鑑別を要する。

乳児の陰股部に生じるものを、カンジダ性おむつ皮膚炎 (candidal diaper dermatitis) あるいは乳児寄生菌性紅斑 (erythema mycoticum infantile) という。夏季の発汗が多い部位に発生するため、汗疹やおむつ皮膚炎（刺激性接触皮膚炎）との鑑別を要する。

2. カンジダ性指趾間びらん症 erosio interdigitalis blastomycetica ★

同義語：指間カンジダ症 (interdigital candidiasis)

第3指間が好発部位となる。指間に生じた紅斑は徐々に拡大し、中心に鮮紅色のびらんを形成する。周囲皮膚は白色調で浸軟する（図 25.14）。細菌感染を併発し、軽度の疼痛や瘙痒を伴うこともある。飲食店従業員など、水仕事に従事する者に好発する。

3. カンジダ性爪囲炎 candidal paronychia

カンジダ性指趾間びらん症と同様に、水仕事従事者に多い。手指の爪周囲に発赤、腫脹を生じる（図 25.15）。圧迫により

排膿することもある。爪根部から変形をきたすことがある。難治性であり、有効な抗真菌薬を用いても治癒までに数か月を要し、再発しやすい。

4. 爪カンジダ症 **candidal onychomycosis**

同義語：nail candidiasis

爪^{そうこう}甲の肥厚や変形、崩壊を呈する。臨床的には爪白癬と区別できないため、確定診断には真菌培養が必要である。

5. 口腔カンジダ症 **oral candidiasis**

鵝口瘡 (thrush) ともいう。口腔粘膜あるいは舌に白色の偽膜や白苔が付着し、炎症性潮紅を伴うことがある。灼熱感や味覚の消失を伴い、偽膜を剥がすとびらん局面を形成し疼痛をきたす。新生児で産道感染として生じることが多く、1～2週間で自然治癒する。成人の口腔カンジダ症では糖尿病や免疫不全などの基礎疾患を有していることが多い。AIDSの初期症状としても重要である。

6. 性器カンジダ症 **genital candidiasis** (**candidal vulvovaginitis, candidal balanitis**)

健常女性の75%で一度は経験される。膣および外陰部に、びまん性の発赤と白苔形成を認め、白色の帯下がみられる (図 25.16)。妊婦や糖尿病の成人女性で悪化、慢性化しやすい。男性では亀頭や包皮などに発赤と鱗屑を形成する。STIとしての側面ももつ。

7. 慢性皮膚粘膜カンジダ症 **chronic mucocutaneous candidiasis ; CMC**

内分泌異常などを背景にして、幼少時から皮膚および粘膜にカンジダ症が出現し、慢性に経過する。一部は常染色体劣性ないし優性遺伝をとり、カンジダに対する免疫を担う Th17 に関連する遺伝子 (*IL17RA, IL17F, STAT1* など) の変異が報告されている。皮膚病変は多発し、過角化を伴い厚い痂皮^{かひ}を形成する傾向が強い。病理組織学的に肉芽腫を形成することもある〔カンジダ性肉芽腫 (candidal granuloma)〕。成人発症例では胸腺腫や AIDS の合併を考慮する。治療抵抗性であり、抗真菌薬の内服や点滴静注を用いるが、再発を繰り返す。



図 25.16 性器カンジダ症 (genital candidiasis)

黒毛舌
[(black) hairy tongue]

MEMO 

